

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
ファッションアドバイザー Fashion Adviser		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッション関連科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションスタイリング・コーディネート				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
立川笑子	非常勤講師室	授業内に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
ファッションアドバイザー（販売員）に必要とされるベーシックな商品知識・基本技術の常識を身に付ける。				
授業の目標				
①商品知識を身につけ、商品を説明できるようにする。 ②新しくなった洗濯表示を身につけ活用できるようにする。 ③正しい接客用語を話せるようにする。				
授業の方法				
講義とブックの製作				
学習の成果（学習成果）				
授業の目標①～③を達成すると、現場で活かせる知識・接客マナーを考案することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス（授業の進め方、評価方法）洗濯表示、品質表示、サイズ表示			
第2回目	インナー、トップス、ボトムスの知識			
第3回目	アウターとその他アイテムの知識			
第4回目	ディテールの知識① トップス関連			
第5回目	ディテールの知識② ボトムス関連			
第6回目	素材の知識① デザインと構成			

第7回目	素材の知識② デザインと縫製	
第8回目	接客法①（トーク術）	
第9回目	接客法②（敬語と接客言葉への言い換え）	
第10回目	接客法③（簡単英語）	
第11回目	現場でのQ&A①	
第12回目	現場でのQ&A②	
第13回目	小テスト	
第14回目	ブック製作	
第15回目	ブック製作、まとめ	
事前・事後学習	日頃から身近なお店のアイテムや店員さんの行動を気にかけて買い物をする。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	遅刻・欠席なく、授業に積極的に参加できているか。
レポート		
調査報告書		
小テスト	30%	授業内容が身に付いているか
試験		
発表内容（態度含む）		
その他	40%	ブック製作が自分に役立つようにまとめられているか
教科書と参考図書		
教科書：なし（必要に応じて資料を用意する） 参考図書：現場で生きるアパレル素材の基礎知識（織研新聞社）/ファッション販売員 プロの常識BOOK（商業界）		
履修上の留意点・ルール		
欠席、遅刻は原則認めない。忘れ物も減点の対象となる。 授業内の製作材料（ブックの材料）は自己負担。 内容が変更になることがある。		